

茶話

SAWA

日本茶インストラクター
協会熊本県支部会報
平成 18 年 8 月 25 日発行
第 9 号

「茶農家一日 体験ツアー」開催

八代市泉町で実施

GW明けの五月十三日、新茶シーズンの熱も冷めない八代市泉町(旧泉村)において、インスト・アド七名の協力により「茶農家一日体験ツアー」が開催されました。

活動報告 杉本隆之

県支部のワークショップで、お茶摘み体験をすると宣言しました。簡単なことだと思っていました。旧泉村で行われる茶摘み体験に便乗して、開催しようと思論んでいました。それが、八代市との合併によってイベントが中止になり、大変なことになるかなーと思いつつ、役所にお願いで、八代シティープロモーションが主催、インストラクター協会熊本県支部が協力するという形をとりました。

簡単そうでは大変でした。チラシに参加者募集の告知をしても人が集まらない、会場から茶園までのマイクロバスの手配

と参加者の送迎、弁当の手配イベント保険の加入、講義内容の決定……。

又、主催者は二日間の開催にしたいというのです。茶商及び茶農家が一番忙しい時期を避けて13日(土)に決めたのですが、天気予報では大雨、雨天中止、小雨決行という微妙な状況。不安を抱えながら、参加費二千元で18名の参加者がありました。

「一本の茶の木から緑茶も烏龍茶も紅茶もできるのだ」との説明に、参加者の方々は驚いていました。私が茶葉概要から製造まで、八千代さんがお茶の淹れ方、有働さんが茶の効果効能について講義しました。その後茶摘みです。なんとか小雨になり、栗木の押方さんの茶工場の見学と茶摘みが出来た時は、一安心でした。

摘み取った茶葉を家庭で使う中華鍋に100g入れる。これを2回繰り返して、柔らかくなった茶葉を合わせて揉む。これを繰り返して釜炒り茶に仕上げる。参加者の方は、この大変な作業を熱心に、又、楽しくやってく

ださいました。出来上がった茶の味は、「おいしいー」という声が聞けました。水色は薄く、味は火香が強かったです。でも、あつさりとした素朴な味で良かったです。

入れ方を実施しました。まずは、お茶のを知っているお母さんたち(お父さんも四名参加)がどの位いるのかを試すため、八種類のお茶当てクイズをしました。「全問正解の方には、見本茶をプレゼントします!」と言ったら、真剣な眼差しに変わり熱心に吟味されていました。(全問正解者は五名、すばらしい!)



小学二年生親子にお茶講座

七月十五日、玉名市の高瀬蔵において玉名町小学校一年生の親子50名を対象としたお茶講座が開催されました。猿渡さんと有働さんのお二人が奮闘されました。以下、猿渡さんから報告いただきました。

感想 猿渡明洋
今回のテーマは「夏の飲み物」ということで、冷茶のおいしい

回の講座に生かせればよいな思い、良い経験になりました。

「茶」の字が付く地名プロジェクト

「茶」の字が付く地名として「茶屋峠」を第四号で紹介しましたが、御船町上野には「茶屋本」という地名があります。旧日向街道の拠点として茶屋が設けられた名残のようです。

また、天草市河浦町今田板之内には「茶園原」という地名があり、「こ」では縄文時代の遺跡が見つかっています。かつて茶園があったらう地名の由来を調べましたが、結局わかりませんでした。

八代市泉町には「茶白山」があります。「分県登山ガイド熊本県の山」には「五家荘中央の上福根山西に張り出したピーク」とあります。

以上、県内に「茶」の字が付く地名は四ヶ所。でも、県内には五十名を超える会員がいます。このネットワークで、「茶」の字が付く地名を探してみよう。



インスタ豆知識

「冷水茶」と「水出し緑茶」との違いは？

今年の夏は連日30度を超える猛暑が続き、我々の講座でも冷水の楽しみ方を取り上げることが多いようです。

冷水の淹れ方は皆さんご存知でしょうか省略しますが、三通りほどあるかと思えます。

でも、店頭などで売られている冷水用のリーフやパックなどには、「冷水茶」や「水出し緑茶（煎茶）」の名前をよく目にします。この二つの名前はどつ違つのと尋ねられたら、どつしますか。

そこで調べてみました。茶業関係の本六冊の中には、冷水茶や水出し茶に関する記述はありませんでした。代わりに「水出し緑茶の製造法」なるものが見られました。次にインターネット



の検索を使って各々の語句について調べてみると、どちらにも当てはまるもの、混同して使われているものが多いようです。

最後にインスタトラクター関連の本五冊を見てみますと、この言葉に言及したものはありません。しかし、冷水の項で、茶葉を冷水で入れる冷水茶、水出し緑茶用パックで淹れる（水出し緑茶）というニュアンスの捉え方が見られます。

詳しい方によると、この言葉の定義といったものはないそうです。あなたなら、この言葉をどつ使い分けられますか。

会員短信

雑感

城葉子

あの日、坂本さんの熊日投稿記事を目にした時、とてもお茶好きの私は、興味深く読み入ったことを良く覚えてます。これがきっかけで、日本茶インストラクター協会に籍を置くことになったのです。

ひよんなことからの出会いって不思議ですね。普段の生活にちよつと変化が欲しくて支部に電話してしまいました。鉛筆を握って勉強するのが新鮮で、昔々の受験勉強を思い出しながら一生懸命通信講座を勉強しました。合格はしたものの二次に落ちると今度は合格することだけが目的になり、翌々年再挑戦し、やっと合格できました。その間、支部長さんはじめたくさんの方と出会い、たくさん勉強させていただいたことを大変感謝しております。

ただのお茶好き主婦ですけど周りの人よりお茶に詳しくなっていましたので、いろんなところで美味しい入れ方をアドバイスしなくてはと思っていますが日本茶講座とか系統立てたやり方は、私の性に合わないのです。我が家で普段着感覚の日本茶教室、例えば、みんなでワイワイお喋りしながら、そして道具も家にあるお茶道具を使い、堅苦

しくない楽しい時間が出来たらなと思っています。そしてお茶代五百円ぐらいはもらいたいな（笑なんて、一方的に自分について想像を膨らましては頭の中で夢を楽しんでおります。

飽き性の私は、ついこの間までべにふうきやお茶殻ご飯にはまっていたのですが、今お茶殻パックにはまっています。ただ洗顔後にお茶殻をゴシゴシ顔にこすり付けるだけです。大量に出るお茶殻がもつたいたくなくてやり始めたのですが、気持ちいいですよ、お勧めします。但し、お茶殻の洗い落としにはご注意ください。

近況です！

山崎真一

各地に被害をもたらした梅雨がよつやく明けました。当方の住む球磨地方でも球磨川が下流域であふれたり、土砂崩れで家がつぶれたり大きな爪あとを残しました。また日照不足による農産物の生育不良なども心配されるそうです。今回の長雨集中豪雨で被害に遭われた方には心よりお見舞い申し上げます。さて、私のところは6月末に一番茶の収穫を終え、本年度の収穫作業が終了しました。他の地域、生産家によってはこれから八月十日頃まで三番茶の収穫、九月末には秋冬番の収穫

を行うところもあります。茶畑の管理作業は、一年を通して気を抜くことが出来ません。それは、今年の梅雨のように集中豪雨が続いたら養分が流亡し栄養バランスが崩れたり、病気が発生しやすかったりと天候に左右されるところが大きいからです。特にこれから十月一杯の管理については、来年の一番茶の母枝を育てるといって最も気を使つ時期になります。この期間の管理如何によつては、新茶の収量、品質に大きな影響を与えます。まだ暫くは酷暑が続くでしょうが、冷水をガブガブ飲んで水分補給しながら、おいしそうな一番茶の芽が出てくるのをイメージしつつ、茶畑の管理に励みたいと思います。皆さんも夏バテしないようこの夏をしっかりと乗り切ってください。

次回の短信は、小山玲治さんと藤本章美さんの予定です。

《編集後記》 お久しぶりの茶話です。六月下旬の予定がずつと延び延びのまま…中には消費期限の切れた記事もあるかも、スイマセン。九月からいろんな活動が目白押しになりそうです。皆さんもどんどん参加してください。ついでに寄稿もお願ひします。私事、台風直撃の日、厄入りの宴で遅くまで街を飲み歩いたツケは、翌日吹き飛ばされそうなる暴風雨の中の帰路でした。

ティータイム

竹(モウソウ)の花は、六十七年に一度咲く？

皆さんは、竹の花を見たことありますか？見たことある方は少ない筈です。「花なんか咲くのー」と言つ方が多いのでは。竹はイネ科の植物ですので、花が咲くと種を作り、枯れてしまします。記録によれば、1980年に開花したモウソウ竹から出来た種子が育ち、花が咲いたのが1997年だったそうです。9年間育ち続ける竹は、地下の茎によつて広がりますので、ちよつとした竹林も元は一つの種だったりします。ちなみにマダケは、ほぼ120年ごとに世界中でいつせいに咲くらしく、親は、もとは世界にたった一つの種かもしれませぬ。